

ジェトロと商工中金の連携による

海外支援事例集

JETRO
日本貿易振興機構(ジェトロ)



人を思う。未来を思う。
商工中金

三位一体で
勝ち取る未来。



2015

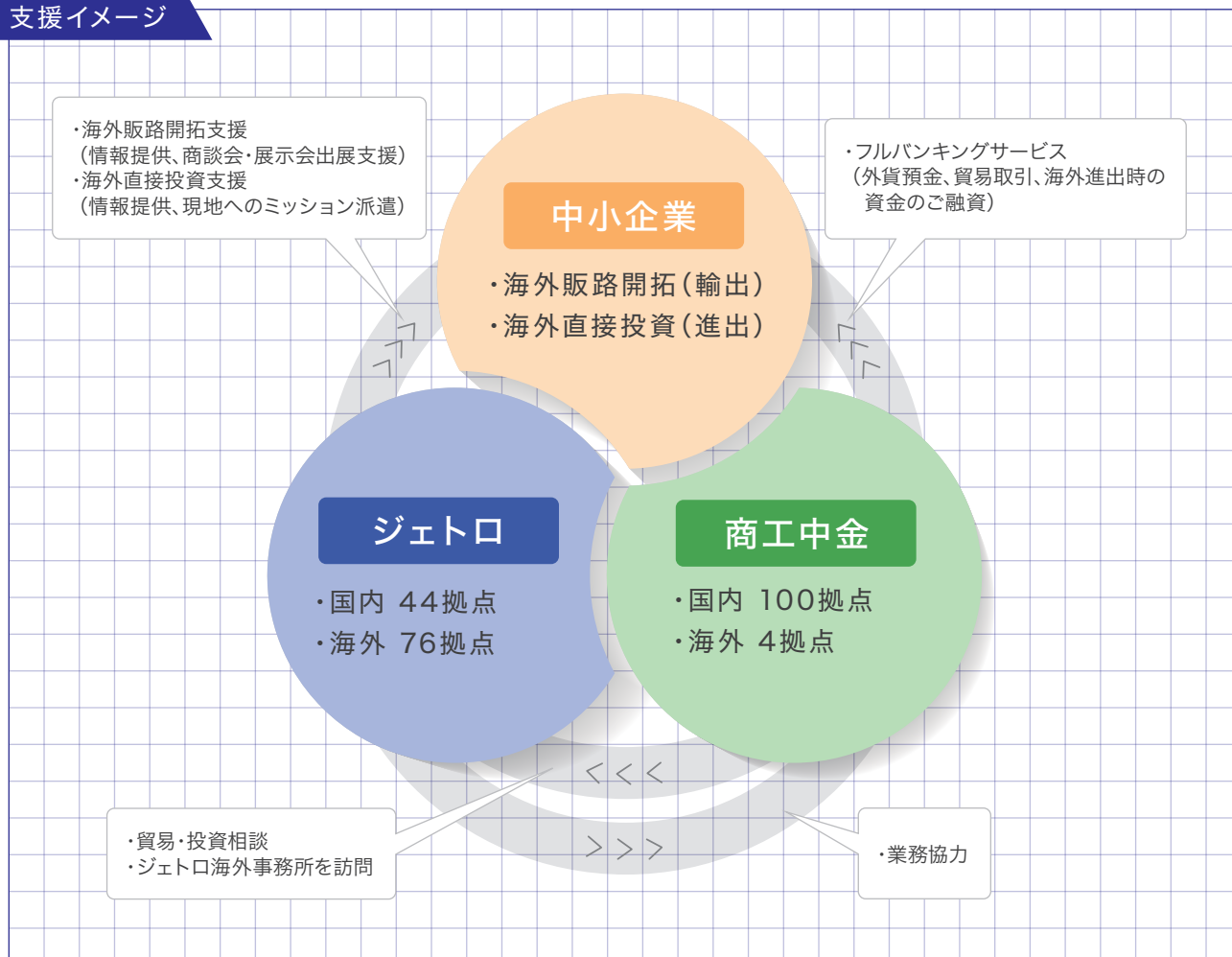


ジェットロと商工中金は連携して、 中小企業の海外展開を ご支援します。

2011年2月、日本貿易振興機構（ジェットロ）と株式会社商工組合中央金庫（商工中金）は、それぞれの国内外ネットワークと経験を活かし、海外展開を目指す国内中小企業を連携して支援することを目的とし、覚書を締結しました。

ジェットロと商工中金が連携することにより、相互の機能を補完し、より多くの中小企業の海外ビジネスが成功するよう、きめ細かいサービスを提供してまいります。中小企業、ジェットロ、商工中金が、三位一体となって海外展開に挑む。実際にそのようなケースが出てきていますので、本冊子でご紹介します。

支援イメージ



ジェットロと商工中金が連携することによって出来ること

- ・ジェットロは、ご要望に応じて海外展開資金を必要とするお客様を最寄りの商工中金の拠点をご紹介します。※
- ・商工中金は、海外展開に取り組むお客様のニーズに合わせジェットロのサービス、地方拠点をご紹介します。
- ・ジェットロと商工中金は、お客様を共同で訪問します。

※ご融資には所定の審査があります。

※国内44拠点とは、大阪本部、42貿易情報センター、諏訪支所を指します。

INDEX

事例紹介

PP.04-09



金属加工



機械部品



衣類



商社



フランス

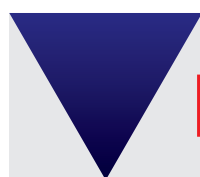
近藤ニット株式会社(山梨県)



衣類

時代に合わせた柔軟性で“山梨ブランド”を世界へ

P04



ベトナム

キュリアス精機株式会社(愛知県)



機械部品

国内外での販路拡大を呼び込んだ機を逃さない決断

P05



タイ

三遠機材株式会社(愛知県)



商社

存在価値を追求するためにASEANそして世界へ

P06



ベトナム

大裕鋼業株式会社(大阪府)



金属加工

自社がモデルケースとなることで日本企業の活性化に

P07



ベトナム

株式会社姫路鍍金工業所(兵庫県)



金属加工

海外で育った人材が日本に経験を還元しさらに強く

P08



インドネシア

新興工業株式会社(岡山県)



機械部品

海外挑戦で広がる“縁”でさらに高まる企業価値

P09

巻末資料

ジェットロと商工中金の国内拠点網が皆様の円滑な支援と海外展開を可能に。

ジェットロ・商工中金拠点のご紹介

PP.10-11



<https://www.evameva.com>

時代に合わせた柔軟性で“山梨ブランド”を世界へ



代表取締役社長

近藤 和也

企業プロフィール

1945年の創業より、ニットを中心とした衣類の製造業を営む。さまざまなアパレルブランドの製品を手がけるが、2001年に自社のアパレルブランド「evam eva」をスタート。日本国内で10店舗の直営店を、海外にもショールームを持つ。1974年設立。



NYで出展した合同展示会

ニットOEM工場からアパレルブランドへ

近 藤ニットは、アパレルOEMの生産工場でした。その高品質によりお客様の引き合いも多かったのですが、ファストファッションが台頭し衣類の値段が総崩れ。加えて、下請工場としては流通の中で価格の決定権がないうえに、どうしても閑散期が生じてしまいます。このままでは成長が望めないのでは、という危機感から自社ブランドを立ち上げることを決意しました。

それが2001年からスタートした「evam eva」です。デザインと製造、販売までを自社で行うことで、高品質とリーズナブルを両立。国内で順調に拡大していきました。一方で、日本でのナチュラル系のブームに乗っているだけではないかという不安があり、新天地で評価をしてもらいたいという気持ちが募りました。そして、市場の拡大という意図もあり、海外を視野に入れはじめたのです。

組織同士が連携することで深い支援を期待

進 出準備を進めるうえで、展示会データベースの利用や、合同展示会の出展費用補助という面でJETROの支援を受けました。同時に、商工中金からは資金面で支援を受けました。わが社が経産省の事業に参加していたので、融資は受けやすかったですね。そして2009年にパリの合同展示会に出展し、製品の輸出を開始しました。すると、順調にオーダーを得ると同時に、アメリカ向けのお客様も増えたんです。そこで2013年には、ニューヨークの合同展示会に参加し、2015年にはアメリカ法人を設立するに至りました。

私たちは、ひとつに固執しない柔軟性で、業態を変え、フィールドを変えて“山梨ブランド”を展開してきました。同時に、支援する側も日本を世界に発信するために、柔軟さが必要となります。今回の二者の連携のように、組織の強みを活かした、太く深い支援を期待しています。

サービス利用のメリット

海外展示会への出展を足がかりに、現地法人を設立



JETRO

ジェットロ 山梨貿易情報センター
所長

高野 光一

これまでの成功の背景には、海外ビジネスに対するひたむきな情熱を持ち、忍耐強く市場分析を行った近藤社長の姿勢があると思います。海外市場は大きな魅力がある一方でリスクも存在します。想定外のことが起こりうる海外ビジネスにおいて、経営者の「情熱と忍耐」が成功への重要な要素になると思います。



商工中金

商工中金甲府支店
支店長

住本 佳史

当金庫独自の「成長・創業支援プログラム」で当社の海外進出をお手伝いしました。近藤社長の攻めの戦略と、丁寧できめ細かな顧客ニーズの把握が成功の要因だと思います。顧客のニーズを的確に捉え、事業拡大に挑戦することは、経営のさらなる可能性の拡大につながるのではないのでしょうか。

▶ 進出段階と支援内容



- 展示会への出展費用補助やショールームの紹介
- 海外での法人設立などへの融資



国内外での販路拡大を呼び込んだ機を逃さない決断



代表取締役

山脇 辰雄

企業プロフィール

主に自動車部品の製造を手がけ、ABS用SOL部品や直噴INJ部品など、製品は多岐にわたる。その精密な切削技術をはじめとする加工技術は、国内大手部品メーカーから信頼を得ており、今回の海外展開でさらなる販路拡大を目指す。1952年設立。



ベトナムの現地事務所

常に挑戦する姿勢で高精度の製品をつくり出す

キ ュリアスとは、英語で“curious”。つまり好奇心を意味しています。日進月歩の自動車業界では、新しい技術を追い求めていかなければいけません。その中でわが社は、好奇心を持って挑戦し、高精度の製品を作り続けてきました。さらに、長年の経験による量産部品の安定して供給できるというノウハウから、大手自動車部品メーカー様にも信頼していただいています。

一方、海外への進出に対しては、そこまで積極的に考えてはいませんでした。海外に工場を持っているお客様も多かったですが、国内での需要もまだまだ多い。それならば国内を重視しようという考えでした。しかしわが社のお客様も、精度の高い製品を地産地消という考えに移行していきました。そして2012年4月、ベトナムに工場を構えたお客様からお声がけいただき、進出計画がスタートしました。

商工中金からジェットロという経路で相談が気軽に

進 出を契機に融資や情報提供をしてくれていた商工中金から、ジェットロへ出向している方がいると知り相談していました。商工中金を介することで、気軽に相談できていましたね。ジェットロの貸しオフィスであるビジネス・サポートセンターの利用や、展示会参加の斡旋、ローカル企業の開拓という面で大きな力になってもらいました。その他の経理、人事、通関業務などは、現地のコンサルにサポートしてもらい、2013年5月には工場の完成にこぎつけました。

取引先が大手であると、海外拠点を持っている時点で評価されます。ベトナムへの進出を契機に、海外での受注増はもちろん、国内での営業の幅も広がりました。お声がけいただいたときに、即座に決断できたことが大きかったですね。これから海外展開を考えている方も、機を逃さず行動することが重要ではないでしょうか。

サービス利用のメリット

ビジネスサポートセンター利用などによる負担の軽減



JETRO

ジェットロ 名古屋貿易情報センター
所長代理

藤原 妙子

ジェットロ・ハノイのビジネス・サポートセンター（BSC）は、開所以来50社近くの企業様にご利用いただきました。退去された後も卒業企業支援の一環として、毎年BSC同窓会を開催しています。キュリアス精機様にも異業種交流の場としてご利用いただいていると伺い、嬉しく思います。



商工中金

商工中金豊橋支店
営業第一課

高橋 博司

当初、手探りの状態で海外進出を計画していたので、国際部と連携しつつ現地事情や貿易実務について情報を提供しました。加えて、中小企業が海外へ進出するのをためらう中、ベトナムへの進出を決断した積極性と、社長自らが牽引する行動力が計画の成功を支えたのではないのでしょうか。

▶ 進出段階と支援内容



- 現地事情や貿易実務についての情報提供
- 現地展示会参加への斡旋


<http://www.san-en.co.jp>

存在価値を追求するためにASEANそして世界へ



代表取締役社長

早川 直宏

企業プロフィール

主に自動車部品を手がける商社。“知識製造業”として、メーカーの技術的な面と課題解決の頭脳という両面で支援している。また、社内にも製造能力を有しており、そこに外部の多彩なリソースを加えた提案により、多数の顧客に支持されている。1991年設立。



タイの現地工場

専門知識と幅広いリソースで顧客の課題を解決

知 識製造業、これが三遠機材が標榜する仕事です。その実態は、自動車部品を専門とする商社で、外部リソースや社内の製造部門の力で、お客様の課題を解決しています。「コンピエンス&フレキシビリティ」を目指し、お客様にとってのオンリーワンであり続けることで、存在意義を確立してきたのです。

海外を意識するきっかけとなったのは、2008年のリーマンショックによる内需の落ち込みです。そもそも、日本のものづくりは徐々に空洞化していると感じてはいました。ただし、海外もマーケットはあるものの発注は保証されないため、進出を決めかねていました。しかし、社員たちの「挑戦してみたい」という意見に後押しをされ、海外展開を決意しました。そこでまずは、インドや中国にも便が良いタイに狙いを定めたのです。その決断をしたのが、2010年2月でした。

海外初挑戦でも両者の支援でスムーズに

そ こから進出するまでは早かったですね。2010年9月には現地法人の設立に至りました。その際、ジェトロと商工中金の存在には、本当に助けられました。右も左もわからない我々は、ジェトロセミナーで基本知識を学び、進出の際の不明点、例えば優遇税制についてなどを窓口で相談しました。商工中金は、BOI（タイ投資委員会）との接点を作ってくれ、資本金や税金が安くなるといった恩恵を受けることができました。その後も人材や取引先の紹介など、さまざまな面でサポートをしてくれたのです。

このタイを足がかりに、今では韓国、インドネシア、中国にも進出を果たしました。海外展開を通し、次世代を担う人材が育ち、外部とのパイプも豊富になってきています。ASEANから次のステップへ。この挑戦が、また企業として大きくなるチャンスだと思っています。

サービス利用のメリット

BOIと接点ができ、資本金や税金の軽減といった恩恵享受

JETRO

ジェトロ 名古屋貿易情報センター
所長代理

藤原 妙子

ジェトロの膨大な情報とさまざまなサービスを、いかに適切にご案内できるかは私たちの日々の課題です。その点、三遠機材様には必要なサービスを適切に選択し、活用していただいていたと感じております。臨機応変、自由自在な機動力が同社の強みであり、成功の原動力ではないでしょうか。

商工中金

商工中金豊橋支店
営業第二課

池田 裕彦

商工中金は、1995年からタイのBOI等へ出向を開始し、現地でのサポート体制を構築してきました。今回、ニーズと私たちの支援内容がうまく合致したと思います。資金面の支援だけでなく、情報提供等による企業様の価値向上へ寄与することでもできるので、ぜひご利用ください。

▶ 進出段階と支援内容

投資検討
段階意思決定
段階拠点立ち上げ
段階拠点操業・
開業拡張段階

- 現地優遇制度など、事前知識面でのフォロー
- BOIへの紹介により、外資規制や税金の負担を軽減


<http://www.daiyu-steel.co.jp>

自社がモデルケースとなることで日本企業の活性化に



代表取締役社長

井上 浩行

企業プロフィール

西日本有数のコイルセンターとして、薄鋼板加工を手がける。その薄鋼板の使用用途は、自動車、電化製品、住宅設備、建設機械など多岐にわたり、高い品質をもって日本のものづくりを支える存在。取引は西日本を主とし、500社近く。1961年設立。



ホーチミンの生産工場とスタッフたち

ベトナムの経済成長に需要の高まりを確信

西 日本有数のコイルセンターとして、高品質・高精度はもちろんのこと、常にお客様のニーズに応え続けてきました。また、どんな困難な仕事であっても、その緊張感や責任感を楽しまつつ乗り越えていく、その姿勢で品質を常にアップデートさせています。

そんなわが社が、ベトナムへの進出を決意したのは、国内でコイルの取扱いが減少してきたことがきっかけでした。そのことに加え、私たちが海外へ飛び出すことによって、海外への進出を考えている中小企業やお客様にとってのモデルケースになることもできるのではないだろうか。その想いが、進出への決意を後押ししたのです。また、以前ホーチミンを訪れた際、その勤勉な国民性に感銘を受けたこと。そして、経済発展が著しい一方、自動車産業が未発展なので、私たちの需要が高まるという確信を得たことも大きな要因でした。

海外へ挑戦する際に鍵となる人材の育成

そ の後、2013年4月から現地視察を開始し、7月には事務所を立ち上げへ。一方で、海外経験がないゆえに、実情が掴みきれないという不安もありました。そこで、ジェトロのアドバイザーにつないでくれたのが、それまで関わりのあった中小機構でした。もともと民間企業の経営者で、現地の情報に精通しており、商慣習などの情報を供給してもらっています。その後、商工中金の融資で現地工場を買い取り、ローカル企業へ商品を販売。今は日系企業からの引き合いも増えました。

今後は、他国へも進出できればよいと思いますが、同時に人材育成の重要性を痛感しています。海外に展開するには、任せることができる人材が必要です。しかし、そこをクリアできれば、学ぶことが多い未知の世界は企業を成長させてくれます。迷っている企業は、ぜひ動き出してほしいですね。

サービス利用のメリット

現地企業や商慣習などの情報提供で、立ち上げがスムーズに



JETRO

ジェトロ・ホーチミン事務所
アドバイザー

栗原 善孝

大裕鋼業様には、初めての海外進出で不慣れな、市場特有の商慣習、企業経営上の税務・労務問題などを助言しました。短期間で現地法人を立ち上げ、事業を軌道に乗せられたのは稀な行動力と感服しました。海外展開を目指す企業にとって、大変貴重な成功事例ではないでしょうか。



商工中金

商工中金大阪支店
営業第三部 次長

金光 明寛

進出計画の当初からご相談をいただき、工場購入の際に融資をいたしました。また、ジェトロとも連携している「中小企業海外展開サポートデスク」を通じ、情報面でもサポートしております。そこに加え、社長の積極性と、何より進出国であるベトナムへの愛情も成功の要因ではないでしょうか。

▶ 進出段階と支援内容



- 現地独特の商慣習や税務・法務の手続きに関するアドバイス
- 工場の立ち上げ、運転資金の融資



http://himeji-mekki.co.jp

海外で育った人材が日本に経験を還元しさらに強く



代表取締役

古江 裕人

企業プロフィール

主に、自動車や太陽光発電機、建築機械などの部品のめっき加工を手がけており、ベトナム進出後はバイク部品の加工も。多彩なめっき技術と職人の手による高品質により、創業から100年近く、多くのクライアントの要望に応えている。1970年設立。



ハノイの現地工場

チャンスとリスクに揺れる中小企業の悩み

私 は弊社の3代目にあたりますが、社長になった際に実行したことがあります。それは、「めっき屋」という職人の集団から「会社」という組織にすることでした。そうして生まれた営業力と元来持っていた職人の技術力。その相乗効果により、売上が格段にアップしました。しかし、10年ほど前、円高によって仕事が減少してきていました。減少したとはいえ、黒字は保っており、企業体力としては問題なかったのですが、海外展開のチャンスだと感じていました。

そこから、度々ハノイへと視察に訪れました。ハノイだった理由は、競合業者がいなかったことなんです。しかし、実際に現地に拠点がないと、仕事の確約が全くもらえません。それでも進出に踏み切れないのは、人材、資金、情報が少なすぎる中でリスクを負えないという、中小企業の弱点を露呈した形でした。

ジェトロと商工中金の支援が弱点をカバー

動 き出したのは、ハノイに工業団地を作る計画を知ったことがきっかけでした。2011年には東京で説明を聞き、2012年には現地へ。決断したらやりぬくしかありませんから。そして、約半年で工場を稼働にこぎ着けました。その際、ジェトロの情報や相談窓口を活用し、進出後も現地所員に給与ベースや手続き関連などについて助言をもらいましたね。さらに展示会で、優良ローカル企業を発見できたことも得難いことでした。とはいえ、当初は売上が立っていませんでした。商工中金が運転資金を融資してくれたことは助かりましたね。両者が、中小企業の弱点をカバーしてくれた形です。

これらの計画で、貴重な人材が育ってきています。現地で得たことを本社に還元していくことで、さらに会社は強くなるのではないのでしょうか。そのときこそ、さらなる展開のチャンスだと考えています。

サービス利用のメリット

情報力と資金力という足りない部分をカバーすることで勝機に



JETRO

ジェトロ 神戸貿易情報センター
所長

山田 尚史

今回、商工中金からの紹介で支援が始まりました。展示会への出展や、調査レポートなどによる情報提供をうまく活用していただいたのではないのでしょうか。ただなにより、トップのビジネスに対する熱意と、グローバルで考えローカルで行動する地道な努力が実を結んだのだと思います。



商工中金

商工中金姫路支店
営業第三課

池谷 直樹

今回、事業本格化に伴う運転資金の面で、スタンドバイLCのご提案をさせていただいております。ただ、そういった支援はもちろんですが、早くから人材の育成を進め、技術の蓄積と社内平均年齢の若返りに成功したことが海外展開の原動力になったのではないのでしょうか。

▶ 進出段階と支援内容



- 準備段階での情報提供、現地での給与ベースなどのアドバイス
- 運転資金の融資

<http://www.kogyo.shinko-grp.co.jp/>

海外挑戦で広がる“縁”でさらに高まる企業価値



代表取締役社長

笹沼 靖憲

企業プロフィール

主に自動車部品の製造を手掛けており、中でもプロペラシャフトの製造量は日本屈指。独自の生産システムを駆使し、常に時代のニーズに適應した、高品質かつ低コストの製品づくりにより、信頼を勝ち取り続けている。1966年設立。



社員全員がそれぞれ目標を掲げる

全員が目標へ動き出す瞬発力で販路を拡大

わが社は、自動車部品を手掛けています。人の命を預かる製品ですので、不具合は許されません。そんな中でも、何を求められてもベストパフォーマンスで応える姿勢で、お客様の信頼を勝ち取っていました。しかし、時代の流れとともに、お客様も次第にローコストカントリーを採用しはじめ、私たちも危機感を覚えていました。

はじめて海外に独自の拠点を持ったのは2011年、中国の無錫市という場所に有限公司を設立しました。きっかけは、2010年の広州モーターショーにご案内頂き、初めて中国のモーターゼーションの進化を直接垣間見たこと。そこから1年かけずに会社設立に至りました。それ以前に、タイで現地企業との共同出資で会社を設立していたという経験も大きかったのですが、わが社の大きな特長として瞬発力は抜群なんです。「ここだ!」というときは、みんなでビジョンを共有して動き出せるんです。

現地に精通した専門家の支援が進出を後押し

インドネシアのケースは、お客様が現地へ進出していたことが理由です。結局、現地調達が主流となりつつある自動車業界は、「そこにいるかどうか」が重要です。そして、お付き合いのあった商工中金様に立ち上げと運転資金の相談をしました。すると、融資以外にジェット口の専門家を紹介してもらったんです。その方は、過去にインドネシアで経営者をしていて、現地のことに精通されていました。採用面接での同席から、設備業者の紹介までしていただきました。そのお陰様で、2014年11月には操業をスタートでき、2017年には量産を見据えています。

海外展開をしてきて、一番の財産は縁ではないかと思っています。現地での縁、そこから日本の企業とつながったというのも縁、本当に信用できる方々とのご縁。それが会社の成長につながっています。これからも挑戦することで縁を広げ、企業価値を高めていきたいですね。

サービス利用のメリット

現地での採用面接や設備業者の紹介まで専門家がアドバイス



JETRO

ジェット 岡山貿易情報センター
所長

木村 玲子

今回は、ジェット専門家が、現地での設立申請から操業開始までをトータルに支援しました。成功の肝となったのは、新興工業様の計画を実行する工程管理と決断の早さだと思います。海外を志す企業は、守りと攻めの双方を大切に、支援機関を有効に活用してほしいです。



商工中金

商工中金岡山支店
支店長

佐伯 隆史

笹沼社長の、何事にも挑戦していくバイタリティ。そして社員の方々の団結力は目を見張るものがあります。その社風に惹かれて、ご融資や、ジェット口様の紹介をさせていただきました。海外展開は、リスクがある反面大きな可能性もあります。情熱とやる気がある企業様はぜひお声がけください。

▶ 進出段階と支援内容

投資検討
段階意思決定
段階拠点立ち上げ
段階拠点操業・
開業拡張段階

- 現地の情報提供、人材採用などに関するアドバイス
- 立ち上げ、初期の運転資金の融資

ジェットロと商工中金の 国内拠点網が皆様の円滑な支援と 海外展開を可能に。

中 国		
ジェットロ	商工中金	
鳥 取 松 江 岡 山 広 島 山 口	鳥 取 支 店 米 子 支 店 松 江 支 店 浜 田 営 業 所 岡 山 支 店	広 島 支 店 福 山 支 店 広島西部支店 下 関 支 店 徳 山 支 店

四 国		
ジェットロ	商工中金	
徳 島 香 川 愛 媛 高 知	徳 島 支 店 高 松 支 店 松 山 支 店 高 知 支 店	

中部・北陸		
ジェットロ	商工中金	
福 井 富 山 金 沢 岐 阜 静 岡 浜 松 沼 津 熱 田 名 古 屋 三 重	岐 阜 支 店 高山営業所 静 岡 支 店 浜 松 支 店 沼 津 支 店 熱 田 支 店 名 古 屋 支 店	豊 橋 支 店 津 支 店 四 日 市 支 店 富 山 支 店 高 岡 支 店 金 沢 支 店 福 井 支 店

九 州		
ジェットロ	商工中金	
福 岡 北 九 州 佐 賀 長 崎 熊 本 大 分 鹿 児 島	福 岡 支 店 福岡流通センター出張所 北 九 州 支 店 久 留 米 支 店 佐 賀 支 店 長 崎 支 店	佐世保支店 熊 本 支 店 大 分 支 店 宮 崎 支 店 鹿 児 島 支 店

近 畿		
ジェットロ	商工中金	
大阪本部 京 都 神 戸	大 津 支 店 彦 根 支 店 京 都 支 店 大 阪 支 店 大 塚 支 店 梅 田 支 店 船 場 支 店	箕面船場支店 東 大 阪 支 店 神 戸 支 店 姫 路 支 店 尼 崎 支 店 奈 良 支 店 和 歌 山 支 店

沖 縄		
ジェットロ	商工中金	
沖 縄	那 覇 支 店	



北海道	
ジェトロ	商工中金
北海道	札幌支店 函館支店 帯広支店 釧路営業所 旭川支店

東北	
ジェトロ	商工中金
青森 盛岡 仙台 秋田 山形 福島	青森支店 八戸支店 盛岡支店 仙台支店 秋田支店 山形支店 酒田支店 福島支店 会津若松営業所

関東・甲信越	
ジェトロ	商工中金
関東 茨城 栃木 千葉 横浜 新潟 山梨 長野 諏訪支所	水戸支店 宇都宮支店 足利支店 前橋支店 さいたま支店 熊谷支店 千葉支店 松戸支店 浦安出張所 本店営業部 八王子支店 上野支店 大森支店 京浜島出張所 押上支店 新宿支店 深川支店 新木場支店 東京支店 池袋支店 渋谷支店 神田支店 横浜支店 川崎支店 横浜西口支店 相模原営業所 新潟支店 長岡支店 甲府支店 長野支店 諏訪支店 松本支店

ジェトロ国内事務所連絡先はコチラ
<http://www.jetro.go.jp/jetro/japan/>

商工中金の国内拠点の連絡先はコチラ
<http://www.shokochukin.co.jp/tenpo/>



人を思う。未来を思う。

商工中金

お問い合わせ先

日本貿易振興機構(ジェトロ)企画部地方創生推進課

〒107-6006 東京都港区赤坂1丁目12番32号 アーク森ビル6階

Tel **03-3582-5314**

E-mail **ple-sme@jetro.go.jp**

詳しくは

www.jetro.go.jp/jetro/japan/

ジェトロ 国内事務所

検索

お問い合わせ先

商工中金 国際部

〒104-0028 東京都中央区八重洲2丁目10番17号

Tel **03-3246-9450**

国際業務のサポートは

<http://www.shokochukin.co.jp/corporation/support>

商工中金 国際業務

検索